

兵庫県 の 地震 活動

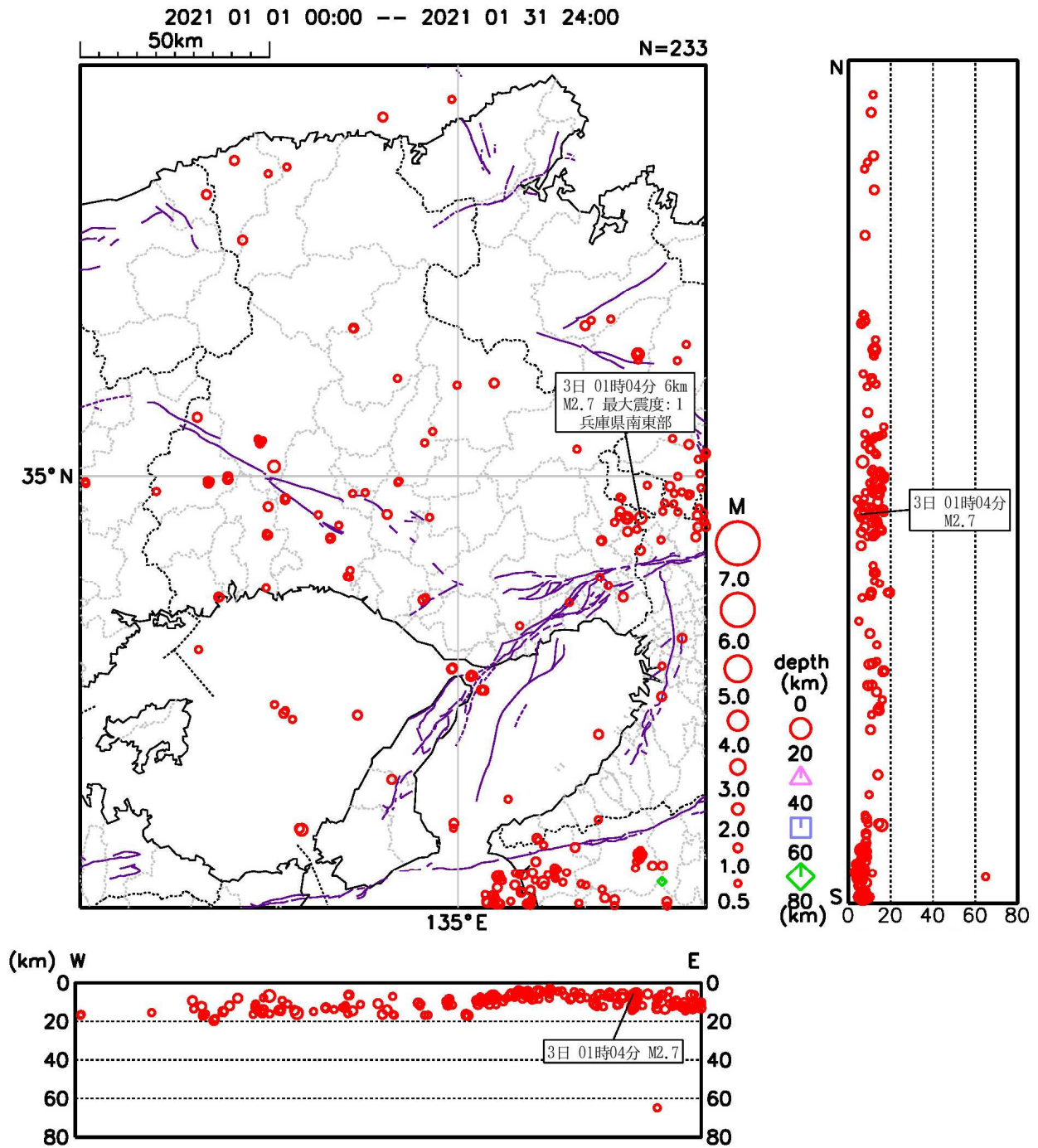
2021 年（令和 3 年） 1 月

震央分布図・断面図	1
概況	2
兵庫県で震度 1 以上を観測した地震一覧表	2
兵庫県で震度 1 以上を観測した地震の震度分布図	3
一口メモ	
Web 会議を用いたオンライン防災支援	4

- * 「兵庫県の地震活動」は月 1 回発行し、兵庫県内の地震活動状況をお知らせするとともに、社会的に関心の高い地震について適宜解説を行います。また、「一口メモ」で地震防災等の知識普及に努め、皆様のお役に立てることを目的としています。
- * この資料の震源要素及び震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。
- * 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。
- * また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

神戸地方気象台

震央分布図・断面図



左上：震央分布図 右上：東から見た断面図 左下：南から見た断面図
 注) 分布図の紫線は、地震調査研究推進本部による主要活断層帯を示す。

概 況

―― 1月の概況――

今期間、兵庫県内では震度1以上の地震を2回観測しました。

3日01時04分 兵庫県南東部の地震（深さ6km、M2.7）により、三田市で震度1を観測しました。

17日20時17分 紀伊水道の地震（深さ42km、M3.2、前掲震央分布図範囲外）により、南あわじ市で震度1を観測しました。

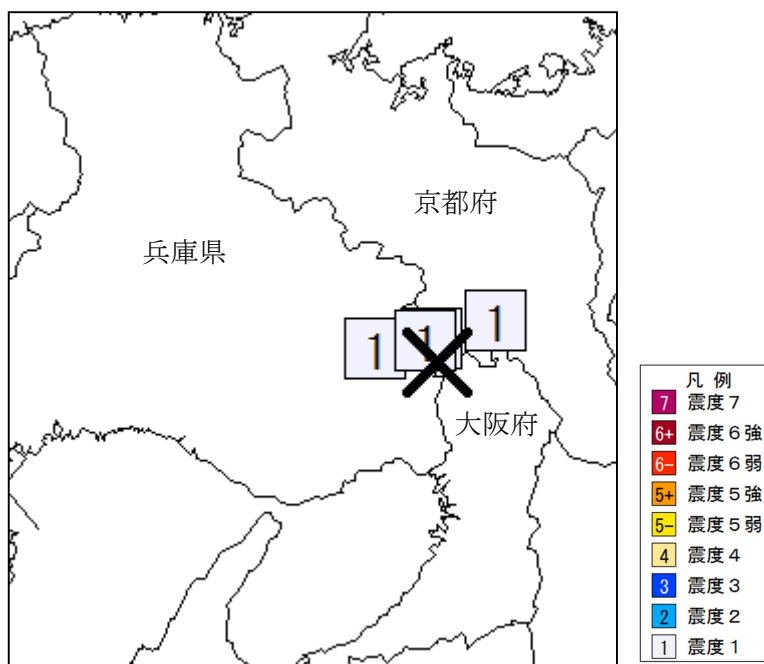
兵庫県で震度1以上を観測した地震一覧表

地震発生日時	震央地名	北緯	東経	深さ	マグニチュード	全国最大震度
各地の震度（兵庫県内）						
1月3日 01時04分	兵庫県南東部	34° 55.1'	135° 25.9'	6km	M2.7	震度1
震度1：三田市下里*						
1月17日 20時17分	紀伊水道	34° 00.2'	134° 47.1'	42km	M3.2	震度1
震度1：南あわじ市福良,南あわじ市広田*						

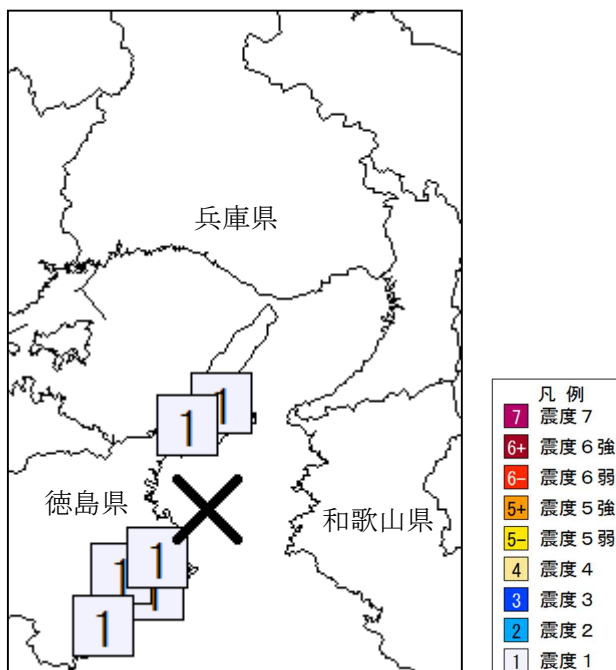
震源要素は、後日修正される場合があります。確定値は「地震・火山月報（カタログ編）」に掲載されます。
なお、*印は気象庁以外の地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

兵庫県で震度 1 以上を観測した地震の震度分布図

1 月 3 日 01 時 04 分に発生した、兵庫県南東部の地震による震度分布図。×印は震央を表す



1 月 17 日 20 時 17 分に発生した、紀伊水道の地震による震度分布図。×印は震央を表す



気象台では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、天気相談や資料照会の窓口業務を休止し、見学や出前講座などの防災支援活動を制限しています。このたび、Web 会議を活用した「新しい生活様式」に適応した形で防災支援をおこないましたので、紹介します。

【 学校安全（防災）総合支援事業について 】

気象台は、学校安全（防災）総合支援事業に学校防災アドバイザーとして、教育現場での防災支援を行っています。今年度担当する学校防災体制推進校である養父市立八鹿小学校で昨年 11 月に行われた地震避難訓練に参加し、同校の先生方を対象に地震に関する講話を行いました。その際、校長先生から「令和 3 年 1 月に八鹿小学校で開催する阪神淡路大震災追悼集会に参加しませんか」とお誘いを受けたのがきっかけとなり、兵庫県内の新型コロナウイルス感染症の拡大状況も考慮し、Web 会議を利用して八鹿小学校の全校生徒に向けて神戸市にある気象台から業務を紹介することとしました。

【 八鹿小学校「阪神淡路大震災追悼集会」への参加 】

追悼集会は 1 月 13 日午後開催されました。新型コロナウイルス感染症対策として、1～6 年生、各 2 クラスの計 12 クラスが各教室から Web 会議に接続し、気象台もユーザのひとりとして接続して参加しました。集会では、校長先生のお話、防災担当の先生のお話、全校生徒による黙祷のあと、気象台から、「きしょうだいのしごと」と題し、地震に関することを話題提供しました。

【 今後の活用に向けて 】

今回の話題提供では、対象が小学 1～6 年生であったことから、普段気象台が地震に関してどのような仕事を行っているのかを中心に解説・紹介し、気象庁の防災業務を理解してもらうことができました。同時に、新型コロナウイルス感染症対策のため一か所に多人数を集めての出前講座等による防災支援が困難になっている現在の状況下においても、オンライン形式の会議は、複数の場所から意思疎通が図れるなど、多くのメリットがあることがわかりました。今後も気象台では、自治体担当者向けの解説や、自治体等が主催する地域防災リーダーや住民を対象とした防災講座等にも関わっていきたいと考えております。自治体、学校等の防災担当の皆様には、Web 会議の活用も含めて検討いただき、気象台からの解説などが必要な場合には当台窓口（078-222-8901）まで連絡いただきますよう、お願い致します。

最後に、貴重な機会を与えていただいた養父市立八鹿小学校の校長先生、防災担当の先生はじめ、関係の皆様にご礼申し上げます。



気象台から Web 会議を通じて解説